

## 近況報告(現状と課題・取り組み)

## (1) 施設福祉サービス部

## ① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
1. インフルエンザ等の感染症の流行はなかったが、年末から年明け2月にかけて体調を崩されるご利用者が増え、入院されるご利用者も多かった(多い時は5人入院されていた)。入院の原因は、ほとんどが肺炎であった。	1. 例年通り感染症の流行時期に合わせて、11月より2F職員及び2Fへ来られるご家族等関係者にはマスクの着用を徹底した。又、加湿器の使用も11月から行った。ご利用者の重度化が進んでいるので、今後も体調の変化を早期発見できるように努める。
2. 老朽化の為か、設備や介護機器等の不具合や故障が多く見られた。	2. 2月に入浴機械を買い替えた。今後も計画的に環境整備を実施していく。

## ② 短期入所生活介護事業所第2 清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
1. 特に12月と1月は体調不良や入院、お亡くなりになるなどが重なり、キャンセルが続出した。新規利用については、緊急のケースも合わせ月平均3人であった。緊急の場合は継続しての利用が難しいが、それ以外のご利用者については半数以上が定期的なご利用に結びついている。	1. キャンセルが出たベッドや特養の空床ベッドを利用し、稼働率を意識しながら緊急のご利用者の受け入れを行っている。新規利用も緊急受入のケースと同様に、ケアマネージャーからの情報を整理し、安心して受け入れができるようにご協力を仰いでいる。

## ③ ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
1. 二人部屋が1室空いている状況で、待機者に打診するも保留されるため入居に至らない。	1. 二人部屋用のパンフレットの作成や、広報誌にケアハウスの特集を掲載したり、ホームページの更新等の取り組みを行っている。

## (2) 在宅福祉サービス部

## ① デイサービスセンター第2 清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
1. 2018年に入ってから、体調不良や骨折による入院者が多発している。それに伴い、ご利用者数が減少している。	1. 関係各居宅介護支援事業所に連絡し、新たなご利用者の受け入れを積極的にすすめている。また、今後身体状態の悪化や、骨折による入院などが増加しないよう、機

	能維持・機能回復をより強く意識したサービス内容の工夫を、検討している。
--	-------------------------------------

## ② デイサービスセンター第2 清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 午前は登録者が介護保険内・外ともに満員となった。午後は介護保険内の枠が若干名空きがある。	1. 齊藤脳外科の齊藤先生の紹介でご利用されている方が数名おられるため、その方々の評価結果をまとめ齊藤先生に報告した。今後も定期的に行い、ご協力いただけるように取り組む。

## ③ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
1. 2018年に入り長期欠席者が2名おり、稼働率が低下している。しかし、3月から新規のご利用があり、一般係からの移行も含めた問い合わせもある。	1. 引き続き、スムーズな移行により稼働率が維持できるように一般係と情報共有を行っている

## ④ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 2017年10月から新たに「お〜い予防教室」として午前開催を行っているが、現状は保険外ご利用者3名のみの登録となっている(保険内・外5名ずつが定員としている)サロンや地域の講演会の場を通じてPRを行っているが、問い合わせには繋がっていない。地御前の予防教室には問い合わせがあることを踏まえると、まだまだ認知されていない現状にあるのではと考える	1. 引き続き、地域包括支援センターやサロンへの訪問を通じてPRを行うとともに出張コグニサイズなどでもPRを行い、認知してもらえるように取り組む。また、地御前と同様に、活動状況を齊藤先生へ積極的に報告し、ご協力いただけるよう取り組み、稼働率の向上に繋げていきたい。

## ⑤ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:この音)

現状と課題	取り組み
1. 加齢や認知症の進行により、身体介護が必要なご利用者が増加している。それに伴い、これまで行ってきた個別性の高い認知症ケアが難しくなっている。	1. 稼働率を維持しながら、ご利用者にとって必要なケアが提供できるよう一般型と連携し移行を含めて検討していく。

## ⑥ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 緩和型の訪問型サービスの依頼が増えてきているが、生活支援員として登録されている方3名で、増員と育成が課題。	1. 生活援助のマニュアルを整備しながら、生活支援員対象の研修を行っていく。

## ⑦ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. ご家族に介護力が低い為、ご利用者の状態の悪化に伴い、早期に入所、入院に結びつくケースが増えた。	1. 個々のご利用者のニーズに対応しながら、4月からの制度改正にむけて、研修や勉強会の参加、事業所内でのミーティングなどで確認を行い、滞り無く移行していくようにする。

## (3) 福祉総務部

## ① 廿日市市配食サービス

現状と課題	取り組み
1. ボランティアの高齢化と減少 2. 配達時の入れ物(袋)について	1. 社協等、包括と関係者との現状把握を行う。 2. 現在の袋では弁当の容器が傾いてしまう場合が多くあるので、必要に応じて発泡スチロールの使用を検討。

## ② 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
1. ケアマネージャーやご家族から、複数の訪問依頼をいただいている。	1. ご本人への説明、市への申請書提出、支援員の調整などスムーズに訪問開始できるよう対応する。

## ③ 出張介護教室・出前コグニサイズ

現状と課題	取り組み
(出張介護教室) 1. 毎年恒例となっている串戸コミュニティーの介護教室を開催。 2. フジグランより開催依頼があり、店長が来所され、内容などについて協議した。	(出張介護教室) 1. 引き続き、阿品・阿品台地区のサロンを中心に参加させていただくとともに、先方のニーズに応じた内容を立案、提案していく。 2. 3月からフジグランで定期的開催予定。
(出前コグニサイズ) 1. 9月に大竹市で開催。 2. 地御前市民センターで4月に立ち上げるサロンへの依頼有。	(出前コグニサイズ) 1. 60名の方が参加された。 2. 4月から定期的開催予定。

## ④ その他

現状と課題	取り組み
-------	------

<p>(人材育成)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 階層別研修を計画的に開催し、部署間実習や他施設との相互実習を継続している</li> <li>2. 新たなカリキュラム(中堅層・指導者層研修)を検討し、より効果的な研修を行う。</li> </ol> <p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度第2回目の研修は9名の受講者で、全員修了された。</li> </ol>	<p>(人材育成)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2018年度の計画を作成中</li> <li>2. カリキュラムの見直しをすすめ、指導者層は新カリキュラムで開催した。</li> </ol> <p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会場が初めてゆめタウン内の市民ホールで、急遽、ホールの都合でケアセンターに変更することもあった。来年度は1回目の会場を変更し、2回目をケアセンターとする予定。多くの受講者を募る。</li> </ol>
<p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度第2回目の研修は9名の受講者で8名修了された。</li> <li>2. 講座を修了した方が、訪問Aの就労につながっていない方が多い。</li> <li>3. カリキュラムの再検討</li> </ol>	<p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会場が初めてゆめタウン内の市民ホールで、急遽、ホールの都合でケアセンターに変更することもあった。来年度は1回目の会場を変更し、2回目をケアセンターとする。多くの受講者を募る。</li> <li>2. 廿日市市担当課と協議して、修了者の現在の就労状況などの調査票を修了者に送付し、就労につなげる。</li> <li>3. 原則、毎週水曜日 10:00～14:45の1日4時間の講座を5週かけ、合計20時間の研修とする。</li> </ol>
<p>(介護のお仕事きっかけ講座)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度第2回目の研修は1名修了され、訪問介護の職に就かれた。</li> </ol>	<p>(介護のお仕事きっかけ講座)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講者の募集の在り方を見直し、出来るだけ多くの受講者を募る。</li> </ol>
<p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場体験実習 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 2か月に1回、原則土曜日に、社協大野事務所と連携して、職場体験の機会をもっている。</li> <li>◇ メンバーの生活環境の変化や、ジョブコーチの不足、活動のPR不足などの状況がある。</li> </ul> </li> <li>2. 鍋奉行活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ さろん阿品や喫茶をお貸しして、活動の機会を持っているが、メンバーの環境の変化、ボランティアの減少などもあり、親御さ</li> </ul> </li> </ol>	<p>(ハーモニーOBG活動支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場体験実習 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 社協大野事務所、ハーモニーメンバーと協議しつつ、社協のホームページで活動報告として発行している紙面を掲載し、引き続き活動紹介やジョブコーチ募集につなげる。今一度、メンバーやご家族の活動への思いを社協から伺う機会を持つ。</li> </ul> </li> </ol>

<p>んの負担も増している。</p> <p>(カフェなかま)</p> <p>◇ 毎週木曜日に喫茶ポッポをお貸しして、500円程度のランチを提供している。</p>	<p>(カフェなかま)</p> <p>◇ 職員向けの提供、施設外からの来客にも対応できるよう毎回 20 食準備しておられる。</p>
--	--